

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1327
施設名	瑞江ちとせ保育園
施設所在地	東京都江戸川区瑞江4-32-3
法人名	社会福祉法人ちとせ交友会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色・光・水の流れ

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

日々の遊びの中でかげ(色つき)に気がつき興味を示した。色のきれいさに着目し、色水遊びを提供すると混ぜる事をととても楽しんでた。ちとせ保育園では色水遊びに対してのノウハウもあった為、知識が豊富だった。テーマは園の特色とも合致していた。

2. 活動スケジュール

7月 沢山の色を作る
8月 作った色に名前をつける
9月 水の流れをつくる、速度をたのしむ

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・透明のプラコップ(200個)・虫かご・スポット・スプーン(洗濯洗剤用)
- ・製氷機・はり金・計量カップ・タライ・水・フードカラー
- 子どもたちが待たずに遊び込めるように赤・青・黄の色水を作るための配合が覚えやすいよう、粉洗剤のスプーンを使用した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

三原色の色水を準備し、子どもが自由に触れたり、試したりできる時間を設けた。最初はコップに入るだけの色水を入れた。⇒ほぼ茶色か黒になり疑問が生まれた。

- ・色の絵本・図鑑を準備し、見せたり電子黒板に移し皆で見たりすると自分の作った色が何色かを調べる姿があった。
- ・三原色の色水の他に透明の水を出しておく、茶色や黒に見えていた色水が緑やオレンジなど本来の色がある事に気がついた。⇒色の濃淡にも気がついた
- ・コップに穴をあけて組み合わせた物を使って水の流れを行った。⇒様々な穴のあけ方を組みあわせて楽しむ姿がみられた。
- ・早く水が流れるようにするにはどうするか考えた
- ・色水を使い水を流してみた⇒色が混ざり合い色んな色に変化することを楽しんでいた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

何度も繰り返し色水を作ると、色に名前をつけて作りたい色を作る姿があった。みんなが「エメラルドグリーン」を作った日がありグラデーションに並べてみると同じ濃さの色が何個もあり水で色を薄める工夫が見られた。「次は100個以上作りたい」「ジュースやさんしたい」など必ず活動の終わりに次の目当てをいう姿があった為、保育者が思っていた内容より活動の幅が広がった。水の流れでは穴の向き・個数によって流れの速さや色の混ざり方が違うことを発見した。また、たてにコップを並べると一番早い事に気がついたがすぐに流れが終わってしまい達成感を感じる子が少なかった。

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

色水遊びによって三原色から100個以上の色を作れるようになり、子ども一人ひとりの発見やその発見をシェアできる力がある事を知った。繰り返し試す中で子ども自身が気づきを深めていく様子が見られた。今後も興味の広がりに応じた環境作りを行っていきたい。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1327
施設名	瑞江ちとせ保育園
施設所在地	東京都江戸川区瑞江4-32-3
法人名	社会福祉法人ちとせ交友会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

シャボン玉

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

よく公園で乳児クラスの子も達がシャボン玉をして遊んでいた。その公園に幼児クラスの子が行くと興味をしめしてよく一緒に遊んでいた。またその時に色の光方に気がつく姿などが見られた為、年間を通して遊んでみようと思った為。

2. 活動スケジュール

4月 シャボン玉を吹いてみよう
5月 いろいろな道具を使ってシャボン玉を吹いてみよう
9月 みんなで大きなシャボン玉を作ってみよう

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

シャボン玉液・シャボン玉を吹くための道具・洗剤・ペットボトル・
絵本・電子黒板・フラフープ・タライ・包帯
※はじめは個別でシャボン玉を行った。その後に保育室にある物を使ってシャボン玉を作ってみた。大きなシャボン玉を作ってみた。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・はじめに個別にシャボン玉を用意してシャボン玉を楽しめるように設定した。
活動後にシャボン玉の絵本をみんなで見て次の活動でどんなことがしたいかみんなの意見を聞いてみた。
絵本の中のシャボン玉を作るための道具は何でもいい事に気がついたので次の活動では自分たちの考えた道具でシャボン玉を飛ばしてみる事をやることに決めた。
・2回目は保育室の中にあるものでシャボン玉を作った。
活動後に今度は大きなシャボン玉を作りたいという意見が出たので次回は大きなシャボン玉を作ることにした。
・3回目は大きなシャボン玉を作った。大きなシャボン玉が何の道具を使ってできるか話しあいどこまでの大きさのものを作るか？何の道具を使うか話し合い行った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

基本的に子どもたちの意見からやることを繋げていった。1回目では穴があるとシャボン玉が出来ることに気がつけていたので2回目の活動を取り入れてみた。実際に穴の開いている道具を使ったが上手くできるものと出来ないものがあり不思議さに気がついていた。シャボン玉が出来ない子がいたので何回も部屋になんだったら出来そうかを考えられるように配慮すると何回もチャレンジする姿も見られた。大きなシャボン玉でははじめは段ボールを丸く切ってやるという意見とフラフープという意見が出たので両方チャレンジしてみた。紙ではできないことに気がつきフラフープで行ってみた。失敗も成功も楽しんで行う姿や何回もチャレンジしてみる姿が印象的だった。

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

シャボン玉の活動を通して話し合いを重ねながら次の活動を行うことができた。また遊びを繰り返すことで新たな気づきがうまれていた。失敗することで探求心が芽生えていた。また、あきらめない力も生まれるので子ども達の経験としてとても良かった。来年度もまた色々な活動を行い、学びや気づきを大切にしていきたい。

実施報告書

1. 確認事項等

施設番号	66-1327		
施設名	瑞江ちとせ保育園		
施設所在地	東京都江戸川区瑞江4-32-3		
法人名	社会福祉法人ちとせ交友会		
活動期間	令和	7	年 6 月 から 令和 8 年 3 月
活動内容の公表	活動報告書を作成し、園のホームページ等で公表した。		
	公表したホームページ等のURL		

2. 活動報告（注1）

番号	1					
テーマ	色					
実施回数・期間 （注2）	合計 8回（内訳：7月1回、8月3回、9月4回）					
対象クラス・ 対象人数	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
						24
活動内容 （注3）	<p>7月 ・色水を使って沢山の色を作る。</p> <p>8月 ・色には沢山の名前がある事を知る・色の濃淡に気がつく・自分でグラデーションをつくる。</p> <p>9月 ・穴の開いたプラスチックコップを組み合わせて水の流れを作る・早く流れる方法を考える・長い道のりで流れる方法を考える・色水を使って水の流れを行い色の変化を楽しむ。</p>					
活動における チェックリスト	グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。					
	※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか 作った色水を乳児クラスでも遊んだ。					
	活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。					
	※記録をどのように行ったか 写真に撮影しドキュメンテーションにした。					
	乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。					
	※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか どのようにすると何色が出来るかを聞いたり、つくった色に名前をつけた。					
	記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。					
	※振り返りの実施方法 担任と幼児リーダー主任とで子どもの気持ちを共有し次へのつなげ方や楽しめる方法を話し合った。					
	幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。					
	※教諭や保護者等への共有方法 ドキュメンテーションの掲示・Instagramでの配信					
次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。						
※継続的な実施のための工夫 子どもの発見の言葉を拾い、次につなげていった。色の本を置いたり本が大きく映し出せる電子黒板を用いて興味が持てるようにした。						

（注1）活動報告は、複数の活動内容を実施した場合は、活動ごとに記入してください。

（注2）「実施回数・期間」欄には、今年度に継続的（月を単位とする複数月）に実施した取組の実施状況を記入してください。なお、原則、単発で実施した取組については対象になりません。

（注3）「活動内容」欄には、どのような取組を行ったのかがわかるよう記入してください。また、活動報告書等、取組を行ったことがわかる書類の写しを提出してください。